

(19)日本国特許庁(JP)

(12)登録実用新案公報(U)

(11)登録番号
実用新案登録第3241095号
(U3241095)

(45)発行日 令和5年3月2日(2023.3.2)

(24)登録日 令和5年2月21日(2023.2.21)

(51)国際特許分類		F I	
E 0 3 D	9/02 (2006.01)	E 0 3 D	9/02
C 1 1 D	17/04 (2006.01)	C 1 1 D	17/04
A 6 1 L	2/23 (2006.01)	A 6 1 L	2/23
A 6 1 L	2/238(2006.01)	A 6 1 L	2/238

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 書面 (全4頁)

(21)出願番号	実願2022-4215(U2022-4215)	(73)実用新案権者	514166355
(22)出願日	令和4年12月6日(2022.12.6)		島田 美八子
			広島県広島市南区宇品東三丁目5-9-604
		(72)考案者	島田 美八子
			広島県広島市南区宇品東3丁目5-9-604

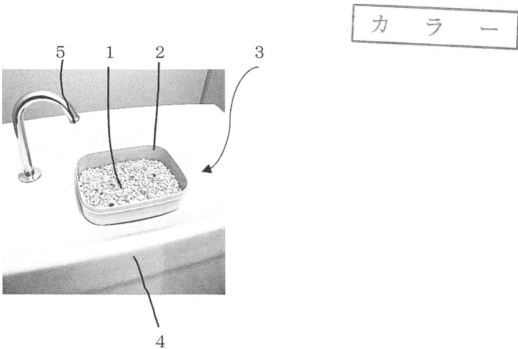
(54)【考案の名称】 貯水タンク式水洗トイレ用の除菌材及び除菌具

(57)【要約】 (修正有)

【課題】便の健康観察に適している、貯水タンク式水洗トイレ用の除菌材及び除菌具であって、トイレの貯水タンク及び便器の封水の水質を、除菌能力を有し且つほぼ無色、無臭、無泡にする除菌材及び除菌具を提供する。

【解決手段】浸水状態での水質を、除菌能力を有し且つほぼ無色、無臭、無泡にする金属、又は貝殻類、又は鉱石を使用した固体の除菌材1を直接、あるいは該除菌材を、透水性を有する容器又は／及び開口部を有する容器2に入れた除菌具3を、タンク4の上又は／及びタンク内に配して、トイレの水を流す度に、便器の洗浄水である、トイレの手洗い吐水管口5から出て、タンク内に貯水される水が、除菌材を経由又は／及び浸水状態にすることで、除菌材の除菌作用によって、タンク内及び便器の封水を、ほぼ無色、無臭、無泡の除菌水にする。

【選択図】図2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

貯水タンクを備えた水洗トイレ用の除菌材及び除菌具であって、該除菌材及び除菌具は、浸水状態での水に除菌能力を付与する固体の除菌材、及び該除菌材を、透水性を有する容器又は／及び開口部を有する容器に入れた除菌具であり、該除菌具を前記タンクの上側で、且つ前記タンクに水を供給する手洗い吐水管口の水を受ける位置に配置して、前記トイレの水を流す度に、前記手洗い吐水管口から出る水が、前記除菌材を通過、又は浸水状態にすることで、該除菌材の除菌作用によって除菌能力を付与された除菌水になって、前記タンク内に注がれて、トイレの洗浄水として前記トイレの便器の内部及び内面の洗浄除菌を行なうことを特徴とする、貯水タンクを備えた水洗トイレ用の除菌材及び除菌具。

10

【請求項 2】

前記除菌材には金属、又は牡蠣殻等の貝殻類、又は鉱石が使用されることを特徴とする、請求項 1 に記載の、貯水タンクを備えた水洗トイレ用の除菌材及び除菌具。

【請求項 3】

前記除菌材には、ゼオライト等の多孔質鉱石が使用されることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の、貯水タンクを備えた水洗トイレ用の除菌材及び除菌具。

【請求項 4】

貯水タンクを備えた水洗トイレ用の除菌材及び除菌具であって、該除菌材及び除菌具は、浸水状態での水に除菌能力を付与する鉱石を使用した固体の除菌材を直接、又は該除菌材を透水性を有する容器又は／及び開口部を有する容器に入れた除菌具を、前記タンク内に、浸水状態になる位置に配置して、該タンク内の水に除菌能力を付与して、前記水洗トイレの便器の内部及び内面の洗浄除菌を行なうことを特徴とする、貯水タンクを備えた水洗トイレ用の除菌材及び除菌具。

20

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、貯水タンク式水洗トイレ用の除菌材及び除菌具に関する。

【背景技術】

、

【0002】

貯水タンク式水洗トイレは、カビが付着して不衛生になりやすい。又、貯水タンク式水洗トイレ用の除菌剤は市販されているが、便器の封水が有色になったり、有香になったり、有泡になるものは、便の健康観察には適さない。特許文献 1 は界面活性剤を使用しているので便器の封水に泡が生じる可能性が有る。

30

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】 実用新案登録第 3 2 0 2 0 2 9 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】**

40

【0004】

本考案は、便の健康観察に適している、貯水タンク式水洗トイレ（以降、トイレとも云う）用の除菌材及び除菌具であって、前記トイレの貯水タンク（以降、タンクとも云う）及び便器の封水の水質を、除菌能力を有し且つほぼ無色、無臭、無泡にする除菌材及び除菌具を提供する。

【課題を解決するための手段】**【0005】**

浸水状態での水質を、除菌能力を有し且つほぼ無色、無臭、無泡にする金属、又は貝殻類、又は鉱石を使用した固体の除菌材を直接、あるいは該除菌材を、透水性を有する容器又は／及び開口部を有する容器に入れた除菌具を、タンクの上又は／及びタンク内に配して

50

、トイレの水を流す度に、便器の洗浄水である、前記トイレの手洗い吐水管口から出て、タンク内に貯水される水が、前記除菌材を経由又は／及び浸水状態にすることで、前記除菌材の除菌作用によって、タンク内及び便器の封水を、ほぼ無色、無臭、無泡の除菌水にする。

【考案の効果】

【0006】

便器の封水の水質が、ほぼ無色、無臭、無泡の除菌水になるので、便の健康観察に適している除菌材及び除菌具である。

【図面の簡単な説明】

。

【0007】

【図1】除菌具（除菌材を容器に入れたもの）の斜視図。

【図2】図1の除菌具を、タンクの上に置いた斜視図。

【図3】便器の斜視図。

【考案を実施するための形態】

【0008】

本考案は、便の健康観察に適している、貯水タンク式水洗トイレ用の除菌材1及び除菌具3であって、浸水状態での水質を、除菌能力を有し且つほぼ無色、無臭、無泡にする固体の除菌材1を直接、あるいは、透水性を有する容器又は／及び開口部を有する容器2に入れた除菌具3を、前記トイレのタンク4の上又は／及びタンク4内に配して、トイレの水を流す度に、便器6の洗浄水である、手洗い吐水管口から出で、タンク4内及び便器6の封水部分7に貯水される水が、前記除菌材1を経由又は／及び浸水状態にすることで、前記除菌材1の除菌作用によって、前記タンク4内及び便器6の封水部分7の水を、ほぼ無色、無臭、無泡の除菌水にする。

添付図面に従って実施例の説明をするが、本考案はこれらに限定されるものではない。

【実施例】

【0009】

図1は、除菌具3であり、除菌材1を、開口部を有する容器2に入れたものである。

図2は、貯水タンク4の上に図1の除菌具3を、開口部を上にして置いた図であり、トイレの水を流す度に、手洗い吐水管口5から出る水が、前記除菌具3に注がれて除菌能力を付与された除菌水になり、該除菌水が前記除菌具3から溢れてタンク4内及び便器6の封水部分7に貯水されて、便器6の内部及び内面の洗浄除菌を行う

【符号の説明】

【0010】

- 1 除菌材
- 2 開口部を有する容器
- 3 除菌具
- 4 貯水タンク（タンクとも云う）
- 5 手洗い吐水管口
- 6 便器
- 7 便器の封水部分
- 8 便器の封水

10

20

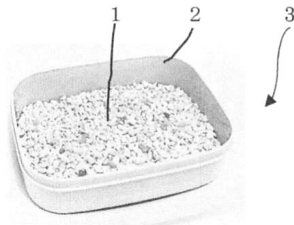
30

40

50

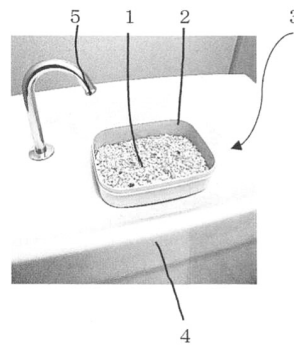
【図面】

【図 1】



【図 2】

カ ラ ー



カ ラ ー

10

【図 3】



カ ラ ー

20

30

40

50